



海老名を 語 ろ う

9月18日(金)に今年度第2回学校運営協議会が開催されました。当日の議題の一つに6年生代表児童とのトークタイムを設定しました。テーマは【海老名の魅力はなに？こんな海老名になったら】とし、代表児童7名からの質問に委員さん方が答えてくださいました。ここでは、6年生の子どもたちと委員さん方とのやりとりを一部紹介します。

『僕は、海老名に2年間住んでいます。皆さんは何年間住んでいるんですか。』「63年間かな、67年間です。」委員さんの答えに、子どもたちは、びっくりしていました。

『私たちはよくゲームで遊びますが、皆さんが子どもの時は何で遊んでいたのですか。』「地域を探検したり、竹藪に基地を作って遊んでいたよ。」子どもたちはちょっとうらやましそうでした。

『皆さんが海老名に住み続ける理由は何ですか。』「海老名は自然も多く、都会と田舎のバランスがとても良いと思う。」うなずいている子がたくさんいました。

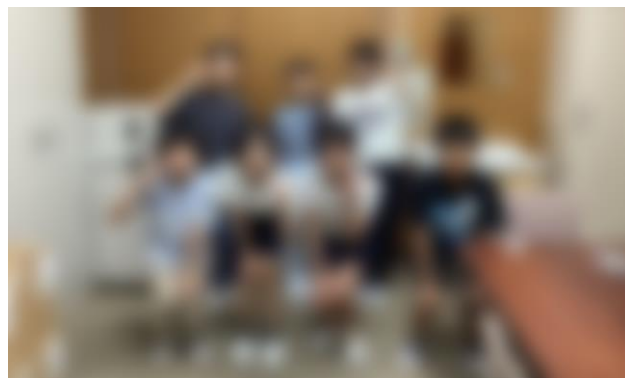
『海老名のおすすめはありますか。』「海老名のイチゴはおいしくて自慢できるよ。」私も海老名のイチゴが大好きです。

『昔からあって変わってほしくないことは何ですか。』「やはり自然が近くにあるのがいい。特に杉本小は校門の前に田んぼがあることはとても恵まれていると思うよ。」きっと子どもたちは5年生のころの稲作の学習を思い出していたと思います。

『海老名でもっとこうなってほしいことありますか。』「今がとってもいいし、今、目久尻川もきれいになって、春は桜の名所だね。」子どもたちは、4年生の時の目久尻川の学習を思い出していたかもしれません。

『昔からいいところがあったと思いますが、これからもっとこうなってほしいと思うことありますか。』「君たちが大人になって海老名から出ていくこともあるかもしれないけれど、いつか海老名が故郷だな、杉本が懐かしいなあと思えるような、そんな町になってほしいです」私もそう願っています。

トークタイムは、今回はじめての取り組みでしたが、6年生の児童の礼儀正しい態度と受け答えが、約20分間のトークタイムをととても素敵な時間にしてくれました。委員の皆さんから「今回、海老名のことを6年生の子どもたちと話せてとても楽しかった。こうして子どもたちと話すことにとても意義を感じました」との言葉に、私自身とてもうれしくなりました。



学校運営協議会に参加してくれた6年生たち